

広島県感染症発生動向月報

[広島県感染症予防研究調査会]
(平成25年12月解析分)

1 疾患別定点情報

(1) 定点把握(週報)五類感染症

平成25年11月分(平成25年11月4日～平成25年12月1日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
1	インフルエンザ	42	0.09	7.67	↑	11	ヘルパンギーナ	20	0.04	0.05	↓
2	RSウイルス感染症	357	1.26	1.16	→	12	流行性耳下腺炎	81	0.29	0.70	↗
3	咽頭結膜熱	323	1.14	0.40	↗	13	急性出血性結膜炎	0	0.00	0.01	
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	321	1.13	0.75	↗	14	流行性角結膜炎	63	0.83	0.85	↗
5	感染性胃腸炎	2,112	7.44	5.65	↗	15	細菌性髄膜炎	3	0.04	0.01	
6	水痘	387	1.36	1.46	↗	16	無菌性髄膜炎	8	0.10	0.02	
7	手足口病	70	0.25	0.35	↘	17	マイコプラズマ肺炎	12	0.14	0.29	↘
8	伝染性紅斑	2	0.01	0.11		18	クラミジア肺炎	0	0.00	0.00	
9	突発性発しん	165	0.58	0.52	↗	19	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	—	
10	百日咳	1	0.00	0.08							

(2) 定点把握(月報)五類感染症

平成25年11月分(11月1日～11月30日)

No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当り	過去5年平均	発生記号
20	性器クラミジア感染症	68	2.96	1.88	↗	24	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	103	4.90	5.50	↗
21	性器ヘルペスウイルス感染症	19	0.83	0.75	→	25	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	20	0.95	1.57	↗
22	尖圭コンジローマ	14	0.61	0.56	↘	26	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0.00	—	
23	淋菌感染症	36	1.57	0.83	→	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	0.10	0.11	

※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当り)

※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。

※ 感染性胃腸炎(ロタウイルス)は、平成25年10月14日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

※ 薬剤耐性アシネトバクター感染症は、平成23年2月1日から届出対象となったため、過去5年平均データはありません。

急増減疾患!!(前月比2倍以上増減)

●急増疾患 インフルエンザ(2件 → 42件)

●急減疾患 ヘルパンギーナ(44件 → 20件)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象19疾患,月報対象8疾患)について、県内177の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1	1～12	13, 14	20～23	15～19, 24～27	
定点数	43	71	19	23	21	177

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	27	結核(27)〔西部保健所(2), 西部東保健所(1), 東部保健所(3), 北部保健所(3), 広島市保健所(7), 呉市保健所(6), 福山市保健所(5)〕
三類	2	腸管出血性大腸菌感染症(1); O91(1)〔福山市保健所〕, 腸チフス(1)〔広島市保健所〕
四類	14	A型肝炎(1)〔広島市保健所〕, つつが虫病(8)〔西部保健所(5), 広島市保健所(3)〕, レジオネラ症(1)〔福山市保健所〕, 日本紅斑熱(4)〔東部保健所(1), 広島市保健所(2), 福山市保健所(1)〕
五類全数	15	急性脳炎(1)〔福山市保健所〕, クロイツフェルト・ヤコブ病(1)〔広島市保健所〕, 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔広島市保健所(1), 福山市保健所(1)〕, 後天性免疫不全症候群(5)〔広島市保健所(3), 福山市保健所(1), 呉市保健所(1)〕, 侵襲性肺炎球菌感染症(1)〔東部保健所〕, 梅毒(5)〔東部保健所(3), 広島市保健所(1), 福山市保健所(1)〕

3 一般情報

(1) 感染性胃腸炎の流行状況について

県では、感染症発生動向調査における平成25年第46週(11月11日から11月17日)の定点医療機関(71医療機関)からの感染性胃腸炎患者報告数が、呉市保健所管内で警報開始基準(定点当たり20)以上となったことから、**平成25年11月21日、県内に「感染性胃腸炎警報」を発令**しました。

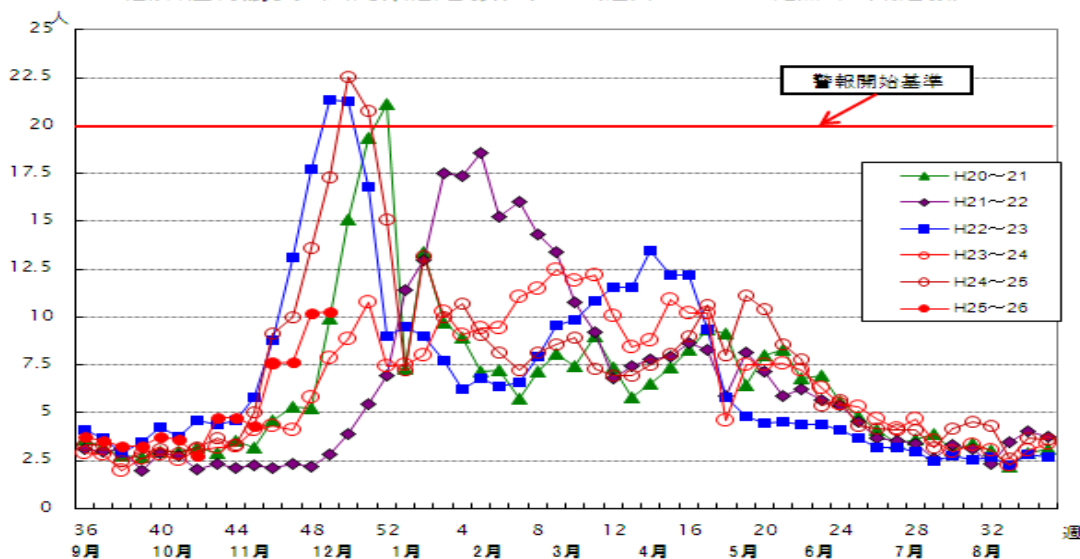
感染性胃腸炎は、冬季に流行のピークがみられるノロウイルスやロタウイルスなどによる感染症で、人から人へ感染する場合と二次感染した食品から感染する場合があります。

特にノロウイルスは、非常に感染力が強く、施設内等では感染が拡大し、多くの方が罹患する傾向があることから、健康被害を受けやすい高齢者施設、保育園や幼稚園などでは、感染の予防及び流行の拡大防止の徹底をお願いします。

※なお、感染性胃腸炎の最新の発生状況等の詳しい情報については、こちらのホームページをご覧ください。

- 広島県 「感染性胃腸炎警報の発令中です」
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ichoen-ryuukou.html>
- 厚生労働省 「ノロウイルスに関するQ&A」
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

感染性胃腸炎 広島県患者数グラフ (過去5シーズン 定点当たり報告数)



(2) インフルエンザの流行状況について

広島県感染症発生動向調査における定点医療機関(114医療機関)からの広島県全体のインフルエンザ患者報告数は、10月の2人から11月には42人と大きく増加しました。また、12月に入り第49週(12月2日~12月8日)には、定点当たり0.42(患者数48人)となり、流行入りの目安とされている定点当たり1.0に近づいています。これから流行のシーズンに向け、発生状況等の情報に注意していただき、感染予防への取り組みをお願いします。

※なお、インフルエンザの最新発生状況等の詳しい情報については、こちらのホームページをご覧ください。

- 広島県 「インフルエンザ情報」
<http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/hidsc-kansen-wadai-zyouhou-inf-zyouhou.html>